

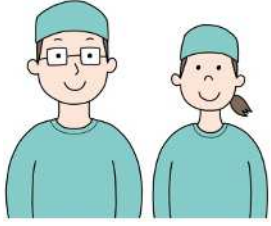
7. 経膣分娩・帝王切開術のスケジュール

<経膣分娩のスケジュール>

	治療・処置・検査	保健指導
入院～ 出産 まで	- 赤ちゃんの心音・お腹の張りを確認します（お腹にモニターをつけます） - お産の進行状態を見るために内診をします。 - 出血に備え、点滴をするための血管確保をします。	- お産の進行状態や進め方について、医師または助産師よりお話しします。 - 呼吸法などのリラックス方法や過ごし方について助産師よりお話しします。
お産後 当日	- 産後2時間はLDRで過ごしていただきます。1時間ごとに子宮収縮・出血の状態を観察します。検温・血圧測定を行います。 - 産後2時間が経過したら病室に戻ります。 - 産後6時間たってから歩行を開始します。（初回の歩行はふらつきやめまいの恐れがありますので看護師・助産師が付き添います）	- 授乳・母児同室について説明します。（お母さんの状況に合わせて説明します） - 体調が良ければ、授乳・母児同室を始めます。 - 授乳・赤ちゃんの世話以外はゆっくり身体を休めましょう。 
1日目	- 検温をします。 - 会陰縫合部、子宮収縮状態を観察します。 - 乳房・乳頭の状態を観察します。	
2日目	シャワーができます。（6:30～20:30）	
3日目	3日目に採血・検尿があります。	沐浴について説明します。
4日目	4日目に退院診察があります。	退院後の生活について説明します。
5日目		5～7日で退院です。（お母さん・赤ちゃんの状態で決まります）

7. 経膈分娩・帝王切開術のスケジュール

＜帝王切開術のスケジュール＞

	治療・処置・検査	保健指導
入院時	☆赤ちゃんの心音・お腹の張りを確認します（お腹にモニターをつけます） ☆手術についての説明が担当医よりあります。ご家族の都合によっては妊婦健診の際に聞くことも可能です。 ☆麻酔についての説明が麻酔科医よりあります。 ☆胸部レントゲン・心電図をとります。（妊婦健診のときに済ませておくことがほとんどです） ☆剃毛をします。	☆手術前後の生活について説明します。 
手術当日 （術前）	☆お腹にモニターをつけます。 ☆点滴を行います。 ☆血栓予防のストッキングを履いていただきます。（術後、歩行開始まで） ☆必要時、浣腸を行います。	☆手術が終わるまでご家族の方は、病院内で待機してください。 （感染症の発生状況により、対応が異なる場合があります。）
手術当日 （術後）	☆子宮収縮・出血の状態を観察します。検温・血圧測定をします。 ☆術後の点滴をします。（翌日まであります） ☆手術室より尿の管が入ってきます。	☆痛みが強かったり、気分が悪い時は我慢しないで知らせてください。（状態に応じて、鎮痛剤などの薬を使います） ☆体調が良ければ、赤ちゃんの面会・授乳（寝たまま）に伺います。
1日目	☆検温をします。子宮収縮状態を観察します。 ☆回診時、医師が傷の状態を確認します。 ☆身体を拭いて、更衣します。 ☆体調を見て歩行の練習をします。歩行ができる状態なら尿の管を抜きます。 ☆昼より食事が開始になります。 ☆乳房・乳頭の状態を確認します。	☆授乳・母児同室について説明します。 （お母さんの状況に合わせて説明します） ☆体調が良ければ、授乳・母児同室を始めます。 ☆授乳・赤ちゃんの世話以外はゆっくり身体を休めましょう。
2日目	☆検温をします。子宮収縮状態を観察します。	
3～4日目	☆乳房・乳頭の状態を確認します。	
5～6日目	☆シャワーができます。（6:30～20:30） ☆3日目に採血・検尿があります。 ☆6日目に採血・傷の処置・退院診察があります。	☆5日目に沐浴について説明します。 ☆6日目に退院後の生活について説明します。
7日目		☆7日で退院です。（お母さん・赤ちゃんの状態が決まります）